

市議会だより

発行／君津市議会
編集／きみつ市議会だより編集委員会



市議会HP



9月23日

総合 防災訓練



車両からの救助

避難所運営ゲーム
「HUG」(ハグ)

インフラの復旧

9月

定例会の
あらまし

第1回

臨時会の
あらまし

大志万学院創立25周年記念式典への参加などのため

一般会計補正予算を議決

第1回臨時会は、8月17日の1日間の会期で開かれました。市長提出の1議案を審議し、慎重審議の結果、原案のとおり可決されました。

小・中学校へのエアコン設置に係る一般会計補正予算など

議案27件、陳情1件を議決

9月定例会は、8月31日から9月21日までの22日間の会期で開かれました。今定例会では、市長提出の19議案と議員提出の1議案、平成29年度一般会計等の歳入歳出決算の認定議案7件、陳情1件を審議し、慎重審議の結果、陳情1件が不採択、そのほかは原案のとおり同意・可決・認定となりました。一般質問では、11人が登壇し、市政運営等について、活発な議論が展開されました。

第1回臨時会 本会議討論

●議案第1号
平成30年度君津市一般会計補正予算(第4号)

賛成

創立以来、小櫃地区の小中学校をはじめ多くの親善交流を図ってきた大志万学院が25周年を迎え、その記念式典の招待に応え、君津市議会、君津市として参加することは、お祝いの気持ちを伝えるとともにこの関係を継続し、さらに昇華させていくためにも大変意義深いものであり、公務性が高いものと考えます。また、国際化時代における君津市の発展、市民の国際感覚醸成に大きく貢献するものであることから賛成。

9月定例会 本会議討論

●議案第5号
君津市市民スポーツ広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

反対

指定管理者に指定すると、その事業者はほとんど替わることなく継続されていき、競争力が働かなくなるといった懸念がある。

賛成

業務委託から指定管理に切り替えることにより、管理運営のノウハウを持った者が常駐することによる安全安心の確保、自主事業や広域的なPRによる利用者の増加、施設の管理経費の削減等、市民サービスの向上が期待できるものと考えます。

●議案第7号

かずさ水道広域連合企業団規約の制定に関する協議について

反対

本来各市が2人ずつである

賛成

べき組合議員について、木更津市は4人を強行したが、重要な公共インフラである水道事業を運営していくためには、4市同数で協議し、協力していくべきであると考えます。

●認定第1号
平成29年度君津市一般会計歳入歳出決算の認定について

広域連合企業団議会の議員定数について、他の一部事務組合でも同様に人口による傾斜配分を設けている事例もあることに加え、今回の議員定数の差は企業団議会において必ずしも不利なものではないと考えられる。そして、一刻も早く広域化して得られた恩恵を行政サービスとして市民へ還元することが何よりも重要であると考え

反対

君津駅北口交通広場駐車場管理納付金について、地方自治体の歳入として不適切と思われる。

賛成

また、小学校、中学校の統合事業については、市民の合意が得られていないため、見直しが必要と考える。

保育環境整備事業や強い農業づくり交付金事業、橋梁寿命延長事業等、大規模な投資事業を実施し、いずれも本市の将来のために必要不可欠な事業であったと思う。今後は、これらまちづくりの根幹を支える事業の実施によって得られた成果やきっかけを生かしながら、将来のまちづくりへの継続的な投資を

反対

何らかの理由で障害を持つ方もいるため、介護認定を受けられないと介護サービスが受けられない制度に反対。

賛成

第6期介護保険事業計画に基づき、認知症初期集中支援チームを設置するなど、認知症高齢者やその家族等を支援する環境の整備を図ったものと理解する。

反対

平成29年度君津市水道事業会計決算の認定について

賛成

水道料金を大幅に引き上げたにもかかわらず、水道事業の統合広域化について、市民への説明責任が果たされていないと感じるため、反対。

※議案の審議結果については、8ページに掲載しています。

委員会の焦点

各常任委員会では、付託された議案及び陳情をそれぞれ審査しました。主な議案等の審査概要は、次のとおりです。

※議案名は、議案等の審議結果(8ページ)を参照してください。

総務常任委員会

審査案件(議案第3号ないし議案第5号、議案第8号ないし議案第14号、議案第17号)

◆議案第5号

(内容) 久留里市民プールの管理を指定管理者に行わせることにより、安心・安心の確保、利用者の増加、施設の管理経費の削減等が期待できるため条例の一部を改正しようとするもの。

問 久留里小学校のプールの授業が久留里市民プールで行われている理由について伺う。

答 今後の学校再編を見据え、現在、小櫃・上総地区の小学校のプールの授業の集約化を考えており、統合後のプールの授業を久留里市民プールで実施することも念頭に、試験的に実施している。

◆反対討論

学校再編に関して試験的な施設利用もあることなどを踏まえると、指定管理よりも直営管理の方が調整しやすいことから時期尚早であると考えます。(賛成多数で可決すべきものと決定)



久留里市民プール

◆議案第11号

(内容) 制限付き一般競争入札を実施した結果、株式会社ケンソー君津営業所が請負金額3億9千611万1千600円で落札したもので、工事内容については、管理教室棟等の大規模改造工事と、特別教室棟の増築工事、工期については、平成2019年9月30日までである。契約を締結するにあたり、議会の議決を経た上で本契約とするもの。

◆反対討論

小櫃・上総地区の学校再編計画は、住民合意が得られていないことから学校再編そのものに反対であり、本契約についても同意できない。

◆賛成討論

本契約案件は、法令を遵守し、適正な方法により契約締結されており、改修は新しい統合校としてふさわしい教育環境を整備するために必要な措置であると考えます。(賛成多数で可決すべきものと決定)

◆議案第13号及び議案第14号

(内容) 学校給食共同調理場の備品等を購入しようとするもの。議案第13号については、食器類や調理用消耗品を、議案第14号については、食缶類や厨房備品をそれぞれ購入しようとするもので、指名競争入札を実施した結果、タニコー株式会社千葉営業所が、請負金額2千751万8千400円と4千71万6千円で、それぞれ落札したものである。契約を締結するにあたり、議会の議決を経た上で本契約とするもの。

問 備品が大幅に増えることによる配送や配膳業務への対策について伺う。

◆議案第17号

(内容) 補正予算として、君津市電業組合から指定寄附金及びドローンの現物寄附があったことから、職員ドローン操縦士育成のための研修費として、職員研修費に87万5千円を増額する。財源は、寄附金85万円及び一般財源である。(全会一致で可決すべきものと決定)

◆議案第17号

(内容) 補正予算として、君津市電業組合から指定寄附金及びドローンの現物寄附があったことから、職員ドローン操縦士育成のための研修費として、職員研修費に87万5千円を増額する。財源は、寄附金85万円及び一般財源である。(全会一致で可決すべきものと決定)

現在、配送計画を立案中であるが、学校現場との連携を図りながら、適切に周知・協力依頼をするともに、小・中学校ともに学校規模に応じて新たに配膳員を配置するなど、スムーズな業務遂行ができるよう努めていきたい。

教育福祉常任委員会

審査案件(議案第17号ないし議案第19号、陳情第8号)

◆議案第17号

(内容) 補正予算の主なものとして、教育費について、大阪府北部地震でコンクリートブロック塀倒壊事故が起きたことを受け、市内の教育関係施設を点検した結果、危険性がある箇所が見つかったことから、塀の撤去、フェンスの設置等の経費分として、1千124万2千円を増額する。財源は、全額一般財源である。

また、各地で猛暑が続いていることから、各学校にエアコンを設置するための設計業務委託費として、8千円を増額する。財源は、市債7千390万円及び一般財源である。

問 危険ブロック塀撤去の進捗よく状況について伺う。

状況について伺う。

答 教育施設のうち、対象となっている11施設中6施設については、完了しており、その他、5施設についても安全性を確保した上で、早急に撤去できるよう進めている。

問 エアコン設置に係るスケジュールについて伺う。

答 工期については未定だが、2019年の夏から使用できるようにしたいと考えている。しかし、他自治体でも同じ動きがあり、機材の調達や作業員の確保に懸念があるため、早期の設置に向け、情報の収集に努めるなど、最善を尽くしたい。(全会一致で可決すべきものと決定)



ブロック塀を撤去し、フェンスを設置

◆議案第18号

(内容) 平成29年度退職者医療交付金の精算に伴い、返還金が生じたことから、国庫負担金等返還金として、1千408万2千円を増額する。財源は、全額繰越金である。(全会一致で可決すべきものと決定)

◆議案第19号

(内容) 基金積立金のうち、介護給付費準備基金積立金については、平成29年度事業の精算に伴い、第一号被保険者保険料収入の剰余分を介護給付費準備基金に積み立てるため、1億1千151万2千円を増額するもの。また、151万2千円を増額するもの。また、諸支出金のうち、償還金については、平成29年度事業の各交付金等の精算に伴い返還金が生じたため、総額5千7百28万4千円を増額するもの。財源は、それぞれ、全額繰越金である。(全会一致で可決すべきものと決定)

また、各地で猛暑が続いていることから、各学校にエアコンを設置するための設計業務委託費として、8千円を増額する。財源は、市債7千390万円及び一般財源である。

◆陳情第8号

反対討論 臓器移植のための環境整備は必要であると理解するものの、陳情者の説明を聞く中で、中国における国際問題の提起があるように思われるため、市議会として可否を判断するのは適当ではないと考えます。(賛成者なしで不採択すべきものと決定)

経済環境常任委員会

審査案件(議案第6号、議案第7号、議案第15号ないし議案第17号)

◆議案第7号

(内容) 4市の水道事業を統合し、水道事業及び水道用水供給事業の統合広域化に向けた広域連合を設立するための規約を制定することについて、関係団体と協議するにあたり、議会の議決を求めるもの。

問 水道用水供給事業の負担割合及び施設整備に要する各市の出資金額の算出根拠について伺う。

答 水道用水供給事業に関する負担割合は、各構成団体の将来を見据えた受水量の見込みをもとに、水源の確保や施設整備に要する費用を各構成団体が負担するものである。また、出資金の額については、平成31年4月から起算して10年間、管路等を含めた施設整備に要する経費であり、各団体の経営状況が異なることから大きく出資額が異なるものである。

問 広域連合企業団議員の定数が決まった経過について伺う。

答 木更津市を除く3市は当初から他の一部事務組合等で実績のある均等割りによる定数を主張してきたが、木更津市は人口を基準とする傾斜配分を主張してきたものである。幾度となく協議を重ねた結果、市民生活を最優先し水道事業の広域化を進めるため、木更津市が主張する傾斜配分による議員定数を採用するに至ったものである。

反対討論 水道の広域化に向け、通

さなければならぬ案件であることは良く理解するものであるが、企業団議員定数決定の経緯や人口を基礎とする議員定数の傾斜配分は承服できない。

賛成討論 構成団体間で傾斜をつけた議員定数も実例があり、また、その人数配分が必ず不利に働くものではない。市民の利益のためにはまず、この議案を通すことが最優先である。(賛成多数で可決すべきものと決定)

◆議案第17号

(内容) 補正予算の主なものとして、次期広域廃棄物処理事業に係る準備室設置費用及び循環型社会形成推進地域計画等策定業務委託料の構成4市均等割りの負担分として、広域廃棄物処理施設整備事業に352万3千円を増額する。財源は、全額一般財源である。

また、農山漁村振興交付金については、君津市農業協同組合が計画する新規就農者の研修用施設の整備に要する費用として、1千266万6千円を増額する。財源は、全額国庫補助金である。

問 農山漁村振興交付金に関し、農協が交付金を受け整備する施設の所在や規模等について伺う。

答 カラー栽培の新規参入者に係る研修施設であり、小糸の花弁集荷場の前に整備するもので、施設の規模は1千200平方メートルほどのハウスと30平方メートルほどの研修棟である。(全会一致で可決すべきものと決定)



カラーの栽培



市政を問う!

一般質問 Q&A

第3回定例会では、11人の議員が一般質問を行いました。各議員による質問の大綱と主な質問・回答を通告順に掲載いたします。なお、掲載記事は、質問した議員自らの寄稿によるものです。

野上 慎治議員 (公明党)



・安全安心なまちづくりについて
・子どもが育つ学校づくりについて
・市の活性化のための交通機関のあり方について

災害の危険性を知らせよう

Q ハザードマップを見ると、小糸川と派川江川の中富付近の水害の危険度が高いと思われる。地域住民に十分な情報提供がなされているのか伺う。

A 本市の浸水想定区域は、市全域にわたって点在しており、該当地域の住民が洪水の危険性を認識し、被害を最小限にするため、洪水ハザードマップの重要性を回覧等で周知する。

登下校の重い荷物対策を

Q 登下校時において、子どもたちが重い荷物を持っていたり、荷物で両手が塞がっていたりすることは、安全面からも改善されなければならないと思う。重い荷物対策の進め方について伺う。

A 全ての小・中学校で図工や美術、家庭科、保健体育等、家庭学習での使用が少ない教科は、持ち帰らなくてもよいというようにしている。今後も、学校へは子どもの発達段階や季節等に配慮し、子どもたちの負担が軽減できるように働きかけていく。

君津新宿線に通学定期を

Q 通学定期ができれば、君津から大学等に通おうという人が増えると考えられる。家庭の経済的負担の軽減にもともにも若者の定住促進にも結び付くのではないかと。通学定期の創設を運行事業者に強く要請していただきたいが、見解を伺う。

A 君津新宿線の通学定期の創設については、若い世代の転出抑制や利用者増大に寄与するものと考えられる。これまでもバス事業者へ働きかけを行っているが、引き続き協議していく。

石上 壘議員 (きみつ未来)



・第2次まちづくり実施計画について
・安全安心に暮らせるまちづくりについて
・君津市スポーツ推進計画について
・君津市景観条例について
・教育環境の整備について

公共施設マネジメント

Q 公共建築物の延床面積を今後20年間で20パーセント削減していく方向性は示されたが、個別計画の策定状況と基本的な考え方について伺う。

A 劣化度の診断及び、将来必要な費用の試算を行い、複合化や集約化、施設機能の転用等の検討を進め、2020年度までの策定を目標としている。学校施設については、今年度中の計画策定に取り組んでいる。

スポーツ振興

Q 地域密着型スポーツクラブの普及を進めてきたが、スポーツ行事への参加率向上や、運動する意識の高揚を図るべきと考えるが、今後の取り組みについて伺う。

A 市民の認知度が低いことなど、課題を抱えていることから、県と既存クラブ共催の行事や地域の条件整備と機運の醸成に力を入れている。今後は、学校統合による跡施設の活用も含め、引き続きクラブの設立に向けて支援をしていく。

既存施設の機能発揮

Q 既存施設等の環境整備として、今後予定されている整備について伺う。

A 小糸スポーツ広場は、駐車場舗装とトイレ男女各一基を和式から洋式へと変更した。今後は、エントランスと場内の遊歩道を舗装する。久留里市民プールは、プールの塗装とプールサイドの人工芝の貼り替えを行った。松丘スポーツ広場は、野球場の排水路を整備する。市民体育館については、現在の石膏ボードによる吊り天井に比べ、安全性の高い膜天井へ改修する工事を10月から行う予定である。

松本 裕次郎議員 (きみつ未来)



・行財政運営について
・活力あるまちづくりについて
・環境対策について
・教育行政について
・子育て支援の充実について

小・中学校の熱中症対策

Q 近年、熱中症の事故が問題となっており、本市の熱中症対策について伺う。

A 体育祭、運動会等の行事の見直しを検討している。熱中症対応に努めていく。過去に本市の小・中学校で熱中症を発症した人はいたのか。また、発症した時、どのような行事を行っていたのか伺う。

A 1学期中の熱中症の報告は、小学校3件、中学校3件、計6件となっている。そのうち、中学校での部活動が2件、体育の授業中が小中学校各1件、通常教室での授業中が小学校で2件あった。

Q 今後、行事の見直しを行うとすれば、どのような見直しが見られるか、見解を伺う。

A 暑い時期に行われている校外学習や各種行事の開催時期の変更、開催活動内容の見直しが見られる。各学校とも協議しながら検討していく。

児童虐待防止対策

Q 本市における虐待相談の件数とどのような虐待が多いのか伺う。

A 平成29年度で88件ということになっている。その内訳は心理的虐待が約3分の2あり、58件となっている。

Q 児童相談所や警察と連携を図っているが、今後の課題を伺う。

A 君津児童相談所が南房総地域全体を所管しており、対応範囲が広いということ、対応職員の増員や管轄地域の細分化等の機能強化が課題であると考えている。また、昨今、国においても、虐待情報共有のためのシステム導入についての動きがあるため、そういった動向も注視しながら、さらなる連携、機能の強化に努めていく。

平田 悦子議員 (きみつ未来)



・鈴木市長の君津市への思いについて
・近隣市との連携について
・よりよい学校教育の推進について
・市街地の道路整備について

電子地域通貨 アクアコインの活用

Q 木更津市がこの秋から本格実施に向けて取り組んでいるアクアコインについて、今後、共同実施等の考えがあるのか伺う。

A 木更津市内の約200店舗で実証実験を行い、現在本稼働に向けシステムの稼働状況や操作性、利便性等、運用面での課題を検証していると聞いている。稼働後の動向を注視しながら運用方法を調査研究していく。

新学校給食共同調理場の運営に伴う食育

Q 調理場が二つになると栄養士が減ってしまう(現在は5人)が、子どもたちにとって十分な食育ができるのか伺う。

A 新調理場の規模では2人となる。県に対する栄養士の加配要求や、市職栄養士を任用する方法で努力していく。

Q 3調理場が統合となり新調理場では一度に約6千500食を調理する。地元食材で給食の質と量を確保できるのか伺う。

A これまでも地産地消率の向上を目指してきた。新調理場でも引き続き安定的な供給ができるよう生産団体や納入業者と打ち合わせを行っていく。人参等は作付けから生産団体と調整を進めていきたい。

(仮称)外貨輪貞元線の橋梁設置

Q 貞元地区の人口増加に伴い、小糸川に外貨輪舟師地区と常代貞元地区を連絡する橋梁を設置すれば地域の活性化や利便性の向上につながる。設置への見解を伺う。

A 今年度はこれまでの検討資料をもとに概略検討を実施し、計画見直しを行っている。地域住民が受け入れられる手法により実現を目指していきたい。

橋本 礼子議員(かがやき君津)



・行財政運営について
・安全安心に暮らせるまちづくりについて
・教育行政について

健全財政運営の取り組み

Q 鈴木市長においては、3期12年の任期中、健全な財政運営に向けて特に取り組んだことは何か。また、今後必要だとと思う対策について伺う。

A 歳入の根幹となる市税の徴収対策に特に力を入れてきた結果、現年分徴収率は、県内で37市中12位から5位に上昇した。歳出面では、市債残高が約72億円の減単年度の人件費は約14億円の減となった。今後は、引き続き市税の徴収対策や財源確保に努め、健全な財政運営を継続していくことが必要だと考える。

地域福祉計画の推進

Q いつまでも住み続けたい支え合いのまちの実現に必要な地域福祉計画の成果と課題について伺う。

A 平成28年度には、相談体制の強化を図るため、地域包括支援センターを新たに2カ所開設し、平成29年度には、生活支援の担い手の養成や発掘等を行う生活支援コーディネーターを配置した。今後、課題である地域福祉活動を支える人材の確保や体制の整備を図っていく。

Q 地域福祉活動計画を推進する地区社会福祉協議会の拠点は、活動区域内に設置することが基本と考えるが、現状そうなっていない。上総地区や君津東地区の対策に公民館の活用は可能か伺う。

A 公民館の活用については、関係部局と調整していく。
Q 地域支え合い推進員である生活支援コーディネーターをどのように活用していくのか伺う。

A 具体的には、市内8地区の中学校区での設置を基本として考えている。今後、市民を対象とした勉強会を実施し、地域課題の解決に向けた取り組み方法を研究していく。

船田 兼司議員(かがやき君津)



・教育行政について
・安全安心なまちづくりについて
・広域連携について
・公共交通網整備について

小・中学校普通教室のエアコン設置

Q 2019年の夏までに普通教室にエアコンを設置し、児童、生徒の快適な学習環境を確保するとしているが、予算及びビジネスルールについて伺う。

A 今議会でも補正予算が可決後、直ちに設計に着手し、具体的な工事内容を精査した上で、工事に係る補正予算案を今年度中に提出し、早期の設置に向け準備を進めたい。
Q 新調理場の供用開始までのスケジュールについて伺う。

A 平成31年1月の調理場完成後は、調理のりハール等、平成31年度の新学期から給食を開始するための準備を進める。民間委託になり、保護者の支払う給食費に変更があるのか伺う。

A 児童、生徒の保護者から徴収する給食費は、全て食材の購入費に充てており、調理業務が民間委託になっても、給食費に影響は出ない。
Q 小糸川下流域の水害対策

Q 小糸川の増水が大変危険されるが、堆積土砂の浚渫の要望、整備について伺う。
A 大雨等による浸水対策のため、小糸川の河川改修工事の早期完成と、松川橋から下流の堆積土砂の浚渫等を毎年県に要望している。

次期広域廃棄物処理事業

Q 事業の概算金額と、どのような要素で本市の負担割合が決定するのか伺う。
A 施設整備に係る事業費は33.7億円と算定、4市の負担要素、割合については、現時点で結論には至っていない。

三浦 道雄議員(諸派・日本共産党)



・行財政運営について
・福祉医療行政について
・教育行政について
・環境行政について

行財政運営 市長の政治姿勢

Q 安倍政権は憲法第9条を改正したいとしているが安倍政治をどのように捉えているのか伺う。

A 憲法第9条は、当然のことながら日本国憲法の中の基本原則であり、平和主義を規定したもので、しっかりと守っていくということは当然のことと考えている。

福祉医療行政

Q 生活保護基準が引き下げられることでの各種施策への影響について伺う。
A 平成30年10月からの基準の見直しで他制度へ影響が生じる可能性はあるが、基準額が減額となる場合は、実態を十分考慮しながらできる限り影響が及ばないように対応することを基本的考えとしている。

教育行政 学校再編統合計画

Q 上総・小櫃地区で学校統合準備室が立ち上がったが、市民等からの要望・意見が議論されているのか伺う。
A 統合準備室は決定された統合を進める実務的組織であり、統合に必要な具体的事項や方針等について、十分に協議しながら決定している。

Q 久留里小学校の2階にトイレがないことについて、認識しているか伺う。
A 統合に際し、必要な改修は実施する。
Q 環境行政

Q 県が新井総合施設(株)の第3期増設事業を許可したことだが、市は、今後どのようなスタンスをとっていくのか。
A 第3期増設事業が許可に至ったということは大変遺憾である。今後、市として、法令に従いどのような対応ができるのか、慎重に検討していく。

下田 剣吾議員(諸派の会)



・公民館の耐震化と活性化について
・読書環境の充実について
・防災について
・高齢社会における人材確保について
・虫園予防について
・通院や買い物困難な交通弱者らいて安全安心な道路にするために
・次期広域廃棄物処理施設について
・子育て支援について

小糸、周南公民館建て替え急務

Q 学校耐震化で先送りされてきた公民館の耐震化や改修を早く行うべきだ。耐震性が指摘される小糸公民館の今後の方針。また、周南公民館は地区の未来を見すえた整備が必要だと考えるが現状をお聞きする。
A 小糸公民館は現時点で、現在地での改修、移転等は決定していないが、学校再編に伴う跡地活用として、公民館への転用も視野に入る。周南公民館は7月に周南地区自治会連合会から早期建て替えの要望が出されている。財源も研究する。

Q 若い人もいる周南地区では今の時代にどんな公民館ができるか、市民、有識者を含め、周南地区にふさわしいプロジェクトを前向きに進めるべきではないか。
A 地域の方々、皆様の意見を取り入れた中で、地域の活性化につながるような良い施設を創り上げていきたい。

Q 小糸公民館は熱心な公民館活動市民活動がされている。特に急いでほしいかがか。小糸公民館は老朽化が進んでいる。できるだけ早く、計画的に進めていく。
Q 小糸デマンドと福祉タクシー

Q 小糸地区の間野は上総地区に接しているが、バスもなく、非常に困っている。
A デマンドタクシー利用の検討について伺う。
Q また、高齢者の福祉タクシーは一人暮らしの想定だが、実際には高齢の親との二人暮らし等も増えている。今一度、必要な支援が届くように見直しをすべきではないか。
A デマンドタクシー利用の際の乗降場所について、利便性も含め検討したい。福祉タクシー事業は、在宅一人暮らし、75歳以上、要介護・支援認定等が対象になっている。今後、制度を調査研究していく。

須永 和良議員(諸派の会)



・住宅供給事業について
・行財政について
・市内産業廃棄物最終処分場について
・公共施設の有効活用について

消防団について

Q 消防団員の処遇改善について、消防庁の通知によれば、適切な額の年額報酬や出勤手当を支給するため、早急に引き上げを行うよう記されているが、今後の改善は。
A 本市の消防団員の報酬は全国及び千葉県の平均額を大きく下回っている状況であり、また出勤手当を年額支給している市は県内で本市を含め2市だけとなっていることも踏まえ、改善に向けた見直しを検討している。

Q 消防団員には活動衣は貸与されるが靴は貸与されていない。平成26年の「消防団の装備の基準の一部改正」を踏まえ、今後の改善について伺う。
A 今後は安全靴や防塵マスクなどの貸与についても改善に向けた見直しを行う。
Q 本市の消防団員は活動衣を着たままコンビニエンスストア等には入ってはいけないという消防本部からの文書が出ているがその理由は。
A 活動衣は消防団活動をするための被服として貸与していることから消防団活動以外のときの着用を禁止していたものである。しかし、出勤時の状況等を踏まえ、活動中または活動の前後に近くのコンビニ等に立ち寄り飲料・弁当等を購入することは問題ないこととし、その旨を記載した文書を出す予定である。併せて、市民にもこのことに対する理解を求める旨の広報を行っていく。

区画整理事業について

Q 民間業者による開発を促すために山梨県富士川町のような制度を導入したらどうか。
A 富士川町の例は一定の条件のもと1区画当たり10万円または20万円を補助するという制度である。本市としても他の自治体の事例を調査・研究していきたい。

用語解説 ※浚渫(しゅんせつ)…水底の土砂を掘取り、運搬処分する作業のこと。

三浦 章議員(君津創生)



- ・環境政策について
- ・教育行政について
- ・危機管理について
- ・観光振興について
- ・施設の有効活用について
- ・税収確保について
- ・行政運営について

環境政策

Q 県は、市、市議会の反対があったにも関わらず、新井総合施設(株)の第3期増設事業に係る産業廃棄物処理施設の変更を許可した。市が原告となり、行政訴訟を起こすことも検討すべきと思うが、ご所見を伺う。

A これまで市及び市議会が一貫して反対の姿勢をとってきた中で、第3期増設事業が許可されたことは、誠に遺憾である。市が訴訟を提起することについては、専門家の意見を伺いながら、慎重に検討する必要があると考えている。

小・中学校の猛暑対策

Q 小・中学校の普通教室にエアコンを設置するとの表明があり、費用は6億円を超えるとのことだが、財源について伺う。

A 主に起債を活用する予定だが、国庫補助金の有効活用に向け、全力で情報収集を行っているところである。

公民館施設の更新

Q 公民館の役割は重要と考えるが、建て替えについて、今後のスケジュールを伺う。

A 整備に係る基本計画とその具体的な実施方法を示した第1期プランの策定に向け検討作業を進めているところである。11月頃に案として示し、パブリックコメントや地域説明会、市議会における論議を経て、今年度末までに決定したい。

ふるさと納税

Q より魅力のある返礼品の開発について、取り組みを伺う。

A 個別に事業者との折衝を行い、新たな返礼品を加えている。

真木 好朗議員(諸派の会)



- ・清和地区のまちづくりについて
- ・夢と誇りの持てる市職員育成のために
- ・橋梁、トンネルの改善について

清和の未来像、国道465号

Q 市長と共に仕事をして11年、健康体操や獣肉加工施設等、取り組みに感謝する。清和地区の未来にどんな夢を描いているのか伺う。また生活道路でもある国道465号について、住民や子どもたちの安全のため、整備をお願いしているが、現状を伺う。

A 自然豊かな清和への移住定住を推進し、活性化に取り組んでいく。国道465号は西栗倉の歩道整備に平成28年から着手し、のり面の補強を40メートル行なった。今年度は歩道工事を1月頃着手する。辻森の道路改良は、今後舗装を行い、今年度中に約140メートル供用開始の予定。

暗いトンネルと小糸橋の改善

Q 市の玄関口である君津インターからの3つのトンネルが水漏れ、照明切れが続いている。市民からは「事故になった」「怖いから、通らない」などの声が寄せられている。改善を求めるが、見解を伺う。また、老朽化した小糸橋の改善について、状況を伺う。

A 千葉県に確認したところ、今年度中に三直トンネルのLED灯への改修、防水工事をすると聞いているが、今後も早期改善を要望する。小糸橋は昭和34年に架設59年が経過しており、架け替えに向け、平成25年度に着手した。平成31年度以降は左岸側橋台築造などを行い、2022年度の完成を予定している。

清和から君津駅への直通バス

Q 清和地区の交通弱者のために、交通政策の見直しが必要ではないか。

A 小糸・清和地区の公共交通については、日本大学と行った共同研究では、君津駅までのバス直通運行を望む声が多かった。まずは路線バスの延伸を早期実現していく。

行政視察研修報告

先進地レポート

教育福祉常任委員会 平成30年7月5日(木)～6日(金)

【視察先】新潟県燕市、三条市

教育と福祉の連携促進に向けて

①子どもの貧困対策について ②キャリア教育について(燕市)

■概要

①燕市は、平成29年に児童扶養手当受給者と就学援助受給者を対象にアンケート調査を行った。その結果、学習塾や習い事等を「何もしていない」が約30%であることなど、貧困の実態が明らかになった。そこで、実態調査を基に横断的なプロジェクトチームを作り、その対策に取り組み始めたところである。

②燕市は、教育委員会が中心になって、協力事業所の開拓、バスでの送迎、手引書作り等を行い、キャリア教育を積極的にサポートしている。

■視察を終えて

①子どもの貧困対策は、教育部と福祉部がそれぞれ担当し、連携がうまくいっていないことが多いが、燕市のように部を超えた連携が必要であり、本市においても推進体制の整備は、早急に行われなければならないと感じた。



燕市役所
本市においても、ぜひ取り入れていきたい。

②燕市では商工会議所や職業安定所、小中学校の校長で実行委員会を組織し、受け入れ事業所の開拓や事業内容の啓蒙を行い、市全体でキャリア教育に取り組んでいる。そのため、市民の理解が進み、継続的な取り組みができて

いる。これは、大変に素晴らしいことである。本市においても、ぜひ取り入れていきたい。

■概要

①乳幼児から就労・自立に至るまで切れ目なく一貫して、個に応じた必要な支援を総合的に受けられるようにするため、市が情報を可能な限り集約・一元化するとともに、関係機関と連携して支援体制づくりを行い、子ども・若者を支援するシステムである。

②三条市は、障がい者の自己実現に向けたさまざまなニーズに対応するため、地域における就労支援の促進・充実に向け、市、アイエスエフ ネットグループ、社会福祉4法人が連携、協力して取り組むことを目的として協定を締結した。

■視察を終えて

①三条市は、教育委員会内に福祉系組織「子育て支援課(子どもの育ちサポートセンター)」があり、調整組織として機能していることや、中学卒業後もフォローできるように、対象者を若者までとしていることなど、市の実態に即した優れた取り組みが多くあり、本市においても早急に取り組む必要があると感じた。

経済環境常任委員会 平成30年7月12日(木)～13日(金)

【視察先】大分県中津市

耶馬溪アクアパークについて

■概要

耶馬溪タムの湖面を有効に活用し、暗く寂しい感じを与える人口湖のイメージを払拭するため、水上スキーを中心としたウォータースポーツによるまちづくりを平成4年度から進めている。当時、大分県が進める村文化推進事業に位置付け、ジャンプ台、スラロームコースを整備して、平成6年3月に全国で初めての町営水上スキー場「耶馬溪アクアパーク」をオープンした。

■視察を終えて

当該施設では、毎年多くの大会やイベントを行っており、水上スポーツの振興や発展に寄与しているだけでなく、全国から出場者や関係者が集まるため、地元には大きな経済効果をもたらしている。

また、子どもを対象とした「夏休み子ども教室」や「地元小学校体験会」を開催しており、水の事故を未然に防ぐ安全教室や青少年の健全育成等を行っていた。スポーツ振興や経済の面から地域に根付き、愛されている施設であることがうかがえ、それに携わる職員や大学生たちのモチベーションの高さに驚かされた。当該施設が地域に与える影響は大きく、本市にとっても有用な施設になると見込まれるため、誘致に向けた研究を続けたい。



耶馬溪アクアパーク

【視察先】大分県中津市

農業の6次産業化について

■概要

日田市大山町は平坦な農地は極めて少ない山峡の町だが、昭和36年に「桃栗植えてハワイに行こう」という斬新なスローガンを掲げ、青少年や女性を鼓舞する運動から始まり、全国有数の梅干しの産地となった。そして、立地条件、資源制約の不利を逆手に取って、多彩なキノコ、野菜、山菜、クレンソウやハーブ、それらの加工品等の生産を徹底した有機農業で早くから推進、実践し、先進的な活動を進めてきた。個人だけではできない基盤となる施設等は、農協が整備し運営している。

■視察を終えて

大分大山町農協は、正組合員数639、准組合員数233という小さな農協だが、全国で多くの農協が合併する中、創立以来合併せず、本来の農協らしい農協として、組合員は意気盛んで、消費者にも喜ばれる優れた活動を実践している。農協、組合員とも志は高く、その取り組みは先進的で全国各地からの視察が絶えないとのことである。本市においても農業は基幹的な産業であり、大山町農協の取り組み、姿勢は大いに学び取り価値のあるものであった。



決算審査特別委員会

成果を検証し

次年度予算へ反映

9月6日の本会議において委員12人からなる決算審査特別委員会が設置され、9月12日、13日、14日の3日にわたり、平成29年度君津市一般会計決算をはじめとする各特別会計・水道事業会計決算の認定議案7件の審査を行いました。

慎重審査の結果、認定第1号及び認定第2号、認定第5号ないし認定第7号は賛成多数で、その他2つの認定案件については、全員異議なく、原案のとおり認定すべきものと決定しました。

委員会における主な質疑等、審査の概要については、次のとおりです。



【決算審査特別委員会】

委員長=加藤喜代美
副委員長=小倉靖幸

委員=▼船田兼司▼野上慎治▼松本裕次郎
▼平田悦子▼保坂好一▼須永和良
▼三浦道雄▼橋本礼子▼高橋明
▼三浦章

決算審査

特別委員会の概要



加藤喜代美委員長

認定第1号 一般会計

問 きみつフォトバンクの効果について伺う。

答 きみつフォトバンクでは、ドローン等で撮影した動画や画像を無料でダウンロードすることができ、びあや千葉ウォーカー等多数の著名な雑誌に掲載されたりCMに活用されるなど、費用をかけずに君津を効果的にPRする大きな成果があったものと捉えている。



きみつフォトバンク・清水溪流広場

問 特別滞納整理事業及び市税収納事務費に関し、事業の効果について伺う。

答 ミラーズロックや夜間、休日の納税相談、督促状の発送、差し押さえ等、地道に粘り強く滞納整理を行うこと、さらには主任徴収官の指導等により組織として知識、対応能力が向上し、徴収率が上がり、収入未済額が大幅に減るなど飛躍的改善が図られているところである。しかしながら、現年課税分と滞納繰越分を合わせた市税徴収率は県内54市町村中23位であり、向上の余地はあるため、引き続き、主任徴収官からそのノウハウを学ぶなど、さらなる徴収事務の改善に努めたい。

問 新しい民間保育園について伺う。

答 新年度に利用者アンケートを実施したところ、新規利用者の評判は好評であり、現在の園児数は定員が90人のところ、85人である。

意見 新しい保育園の運営が順調に開始された一方で、いまだ絶えない待機児童の解消に向けて、関係各所と連携を密に取って、これからも子育て世代の支援に当たりたい。

問 特定不妊治療費助成件数の推移及び平成29年度から始めた男性不妊検査への助成実績について伺う。

答 事業開始時から年々助成件数は増えてきている。また、

問 野生猿鹿猪等被害防止対策事業に関し、箱わなの管理状況について伺う。

答 箱わなは、野生猿鹿猪等被害対策協議会から自治会等を通して、箱わなの免許を持つ者へ貸し出し、管理をお願いしているものであるが、一部、管理の悪い所もあるため継続して指導を行うなど効果的な捕獲に繋げたい。

意見 効果的かつ効率的に箱わなの設置を行うことで、さらなる事業効果が図られるよう管理の方法を検討されたい。



野生動物捕獲用の箱わな

問 メディカルスポーツセンターの施設状況や今後の活用方法について伺う。

答 施設の状況に関しては、老朽化も著しく、空調設備の故障や屋根の状況が悪いなど、大規模な修繕を必要とする箇所も散見される。平成30年度現在、空調設備の修繕を行っているが、他の設備の修繕についても施設の利用に影響がないよう今後の在り方を検討しながら対応していきたい。また、今後の活用方法に関しては、経営改革実施計画における公共施設の適正配置を検討する中で、体力づくり指導協会とも協議を重ねながら施設の活用方法について方向性を示したい。

問 耐震化促進の方策について伺う。

答 木造住宅の耐震化の必要性は強く認識しており、広報やホームページ等さまざまな手段を通じて啓発を行っているが、平成29年度の実績は耐震診断が6件、耐震改修が1件と啓発の効果が表れなかったものである。耐震改修に係る費用や住環境への影響が原因と分析するが、耐震相談件数も多く、市民ニーズもあると考えることから、引き続き、耐震化の啓発や周知方法を工夫し、事業の促進を図りたい。

意見 耐震改修につなげる前段階として、まず、家具の転倒防止を耐震化の入り口とするなど事業の展開に変化、工夫を凝らし、少しでも耐震化が図られるよう対策を講じられたい。

問 防災啓発事業に関し、事業の効果について伺う。

答 小さな子を持つ保護者を対象とした防災講演会を実施したもので、参加者に依頼したアンケート結果では、全員が防災に対する理解・関心が高まったと回答があり、子育て世代への防災力の向上が図られたものと認識している。



幼稚園で開催した防災講演会

問 小学校費の施設整備事業に
関し、主な整備内容について伺
う。

答 貞元小学校普通教室棟整備
事業は、児童数の増加による教
室不足の解消のため、普通教室
を2教室増築した。また、小
学校トイレ改修事業は、児童の
学校生活における快適性を向上
させるため、周西小学校管理特
別普通教室棟の各階トイレ及び
屋内運動場のトイレの全面改修
を実施したものである。

国民健康保険 特別会計

問 国民健康保険の広域化につ
いて伺う。

答 従来、国民健康保険が抱え
ていた、加入者の年齢構成が高
いことによる高い医療費水準、ま
た、加入者の所得水準が低いこ
とによる不安定な財政運営等の
構造的課題を解決するために、
国や県が市町村国保の財政的な
後ろ盾となることで、安定した
財政運営の仕組みを構築したも
のである。

介護保険特別会計

問 生活支援体制整備事業、在
宅医療・介護連携推進事業及び
認知症総合支援事業に関し、そ
れぞれの事業内容について伺う。

答 生活支援体制整備事業に
ついては、生活支援サービスに
担う民間事業者と連携して高
齢者の日常生活の支援をし、社
会参加を促進するもので、生活
支援コーディネーターを3人
配置した。在宅医療・介護連携
推進事業については、医療と介
護の両方を必要とする人が住

み慣れた地域で暮らし続ける
ことができるよう在宅医療と
介護を一体的に提供するために、
医療機関と関係機関の連携を
行ったものである。認知症総合
支援事業については、認知症に
なっても本人の意思が尊重され
住み慣れた地域で暮らし続け
ることができるように地域にお
ける支援体制の構築とケアの
向上を図るもので、実績として
は、認知症初期集中支援チー
ムを設置した。



支援体制の構築を図る

水道事業会計

問 老朽管の定義や更新状況
等について伺う。

答 法定耐用年数40年を経過
して敷設されている管路を老
朽管と定義している。

特に市では、耐震性や強度の
面で脆弱な石綿セメント管や接
着剤を用いて接合する塩化ビニ
ル管などを優先的に更新してい
る。

管理延長は、平成29年度末で
840キロメートルとなっており、
54・5パーセントにあたる4
58キロメートルが老朽管とさ
れ、平成29年度では約7・6キロ
メートルを整備した。

委員会討論

反対討論

●認定第1号
主に仮称小櫃・上総地区中学
校統合整備事業や保育園環境
整備事業について、市民の合意
が得られていないため、同意で
きない。

●認定第2号
資格証明書や短期被保険者
証を発行していることについて、
反対。

●認定第6号
制度そのものについて、反対。

●認定第1号
歳入について、学校給食共同
調理場整備事業や橋梁長寿命化
事業等、国県支出金の積極的な
活用や市債の効果的な活用によ
り、着実にまちづくりを前進さ
せたことなどを評価する。

歳出について、市税収納事務
費において、適切な時期に督促
状等の文書催告を行い、新たな
滞納者を増やさないよう継続的
に取り組んだことで、現年課税
分の徴収率が、99・25パーセン
トと県内第5位となったことな
どを評価する。また、消防団機
庫整備事業において、議会から
指摘を踏まえ、前年の設計を参
考にするなど、工夫を行い、経費
の削減につながったことを評
価する。

反対のあった保育園環境整備
事業については、多様化する保
育ニーズに対応するための必要
な措置であると理解する。今後、
民営化が予定されている園につ
いては、迅速に事業を進め、子ど
もたちの保育環境整備を望むも
のである。また、小櫃・上総地区
の中学校統合に関しても子ども
たちに、より良い教育環境を提

供するための重要な施策であ
ると理解する。統合に向けて
は、学校間での事前交流の実
施により、互いの学校や地域
に対する子どもたちの理解が
深まり、また、地区説明会では
丁寧な説明が行われるなど、
市民の理解も得られているも
のと認識している。引き続き、
円滑な統合に向けた対策を望
むものである。

●認定第2号
滞納者に対する資格証明
書の発行については、法令を
遵守した適正な取り扱いであ
る。

●認定第5号
介護予防・日常生活支援総
合事業の実施により、例年に
比べ、保険給付費の伸び幅を
抑えられたことは評価できる。

●認定第6号
急激に高齢化が進む中で、
医療の質を維持、向上させ、
高齢者の医療費を安定的に支
えるためには、必要な制度で
あり、本市においても健全な
運営がなされているものと理
解する。



議会基本条例策定に 向けて

議会基本条例策定特別委員会小委員会に
おいて検討している条例草案が一定の結論に
達したことを受け、同特別委員会へ小委員会
調査活動報告をしました。

活動報告では、全8回にわたって行った会議
の概要や作成した条文案の前文及び各条文の
説明等を中心に行いました。これにより、議会
基本条例草案作成に関する調査研究を付託さ
れていました小委員会は所期の目的を達成し
ました。

今後は、特別委員会で条例策定に向けて、
引き続き調査研究を進めていく予定です。

行政視察受け入れ

中津川市議会、 清須市議会が本市を訪問

10/10 岐阜県中津川市
議会が、「君津
市公共施設等総合管
理計画」について、調査
のため本市を訪れまし
た。本市と中津川市の
状況等を比較しながら
の説明に耳を傾けてい
ました。



10/18 愛知県清須市議会が「文化のまちづ
くり市税1%支援事業」について、調
査のため本市を訪れま
した。事業の説明が終わ
ると、事業の効果や市民
意識の変化についてなど、
多くの質問が出され、本
市の取り組みを熱心に研
究していました。



議会本会議を配信中

本会議のライブ配信・録画配信を行っています。
スマホ・タブレットからご視聴いただけます。

■配信内容
定例会及び臨時会の本会議

■注意
配信内容は公式記録ではありません。視聴の際は、
配信ページ内の注意事項を必ず確認してください。

■アクセス方法
①君津市トップページの「君津市議会」をクリック。
②左側にある「インターネット中継」をクリック。
③メニューからご視聴になりたいページを選択し、ご視聴ください。
※ご不明な点は、議会事務局 ☎(56)1497へお問い合わせください。



会議録の
閲覧について

一般質問の詳細は、会議録で確認いただけます。会議録は、中
央図書館、議会事務局で閲覧できるほか、市議会のホームページ
でご覧いただけます。
※第3回定例会の会議録は、11月中旬から閲覧できる予定です。

スマートフォン用アプリ「マチイロ」で「議会だより」をご覧ください。

アプリをダウンロードし、「お住まいの地域」で君津市を
選択すると、いつでもどこでもスマホやタブレットなどで
「議会だより」を閲覧することができます。

Android用
スマホ・
タブレット

ios用
iPhone・
iPadなど

※アプリのダウン
ロードは無料ですが、
通信費は利用者の
負担となります。



平成30年

君津市議会第1回臨時会 議案等審議結果

賛否の分かれた議案

◆市長提出議案

議案番号	件名	議決結果	君津創生					諸派の会					きみつ未来			公明党		かかやき君津			諸派					
			鈴木良次	保坂好一	高橋明	小倉靖幸	三浦章	小林喜久男	錦田剛	下田剣吾	須永和良	加藤喜代美	真木好朗	安藤敬治	石上壘	松本裕次郎	平田悦子	磯貝清	佐藤葉子	野上慎治	榎本貞夫	奈良輪政五	船田兼司	橋本礼子	池田文男	三浦道雄
議案第1号	平成30年度君津市一般会計補正予算(第4号)	○可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は、地方自治法第116条の規定により、採決に加わっていません。

表の見方 ○:賛成 ●:反対 欠:欠席

平成30年

君津市議会第3回定例会 議案等審議結果

出席議員全員が賛成した議案、発議(全会一致)

◆市長提出議案

議案番号	件名
議案第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
議案第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
議案第3号	君津市税条例等の一部を改正する条例の制定について
議案第4号	君津市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について
議案第6号	君津市中小企業資金融資及び利子補給に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第8号	君津郡市広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更及び君津郡市広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について
議案第9号	市民体育館天井改修工事請負契約の締結について
議案第10号	清水トンネル補強拡幅工事請負契約の締結について
議案第13号	財産の取得について

議案番号	件名
議案第14号	財産の取得について
議案第15号	市道路線の変更について
議案第16号	平成29年度君津市水道事業会計利益の処分について
議案第18号	平成30年度君津市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
議案第19号	平成30年度君津市介護保険特別会計補正予算(第2号)
認定第3号	平成29年度君津市聖地公園事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第4号	平成29年度君津市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について

◆議員提出議案

議案番号	件名
発議案第4号	希望する小学4年児童にコチニン測定の実施を求める決議

賛否の分かれた議案、陳情

◆市長提出議案

議案番号	件名	議決結果	君津創生					諸派の会					きみつ未来			公明党		かかやき君津			諸派						
			鈴木良次	保坂好一	高橋明	小倉靖幸	三浦章	小林喜久男	錦田剛	下田剣吾	須永和良	加藤喜代美	真木好朗	安藤敬治	石上壘	松本裕次郎	平田悦子	磯貝清	佐藤葉子	野上慎治	榎本貞夫	奈良輪政五	船田兼司	橋本礼子	池田文男	三浦道雄	
議案第5号	君津市市民スポーツ広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○可決		○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
議案第7号	かずさ水道広域連合企業団規約の制定に関する協議について	○可決		○	○	○	○	○	○	●	●	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
議案第11号	小櫃・上総地区中学校統合施設大規模改造及び特別教室棟増築工事請負契約の締結について	○可決		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第12号	小糸・清和地区中学校統合施設大規模改造工事請負変更契約の締結について	○可決		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第17号	平成30年度君津市一般会計補正予算(第5号)	○可決		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
認定第1号	平成29年度君津市一般会計歳入歳出決算の認定について	○可決		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
認定第2号	平成29年度君津市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○可決		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
認定第5号	平成29年度君津市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○可決		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
認定第6号	平成29年度君津市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○可決		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
認定第7号	平成29年度君津市水道事業会計決算の認定について	○可決		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

◆陳情

議案番号	件名	議決結果	鈴木良次	保坂好一	高橋明	小倉靖幸	三浦章	小林喜久男	錦田剛	下田剣吾	須永和良	加藤喜代美	真木好朗	安藤敬治	石上壘	松本裕次郎	平田悦子	磯貝清	佐藤葉子	野上慎治	榎本貞夫	奈良輪政五	船田兼司	橋本礼子	池田文男	三浦道雄
陳情第8号	臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書	×不採択	議長	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	欠	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

※議長は、地方自治法第116条の規定により、採決に加わっていません。

表の見方 ○:賛成 ●:反対 欠:欠席

10/9

かずさ四市の道路・河川の整備促進を要望

地域の発展や防災対策などの観点から、かずさ四市議会議長会では、かずさ四市の道路および河川の整備促進などについて、千葉県知事へ要望書を提出しました。

鈴木良次議長からは、法木地先を

経由して、君津市の東西地域を結ぶ一般県道小櫃佐貫停車場線の道路周辺立木の伐採と道路整備の早期実現、そして二級河川小糸川の未整備区間の早期整備と竹木撤去、浚渫の実施について要望をしました。



かずさ四市正副議長、かずさ四市議会議長会会長市(富津市)選出の吉本県議会議長、県土整備部長

会議日程を配信しています



定例会・常任委員会・特別委員会・全員協議会・先進地視察報告会の日程をホームページで配信しています。なお、配信する会議については、傍聴することができます。会議日程については、議会ホームページの最新情報及び会議のお知らせよりご確認ください。

※会議の日程、開会時間は事前の通知なく突然変更となることがありますので、傍聴にお越しの際はあらかじめ、議会事務局(☎56-1497)までお問い合わせをお願いします。

第4回定例会 12月3日(月) 開会予定です



きみつ市議会だより編集委員

委員長 池田 文男 発行/君津市議会
副委員長 高橋 明 編集/きみつ市議会だより編集委員会
委員 保坂 好一 〒299-1192 君津市久保2-13-1
橋本 礼子 TEL.0439-56-1497

HP/ <http://www.city.kimitsu.lg.jp> 君津市 検索